



臨時總會 齋藤会長挨拶 於 神社庁

やくわえ

号 外

臨時總會開催

次期執行部決まる！

去る十一月十八日、東京都神社庁に於いて、東京都神道青年会臨時總會が開催された。ご来賓に宮西惟道神社庁長・新倉重行神社庁参事、篠直嗣神青協会長（都神青相談役）を迎え、会員五十八名が出席した。

通例では当会の臨時總會は、二月に開催されてきた。しかし、次期平成十一年度は創立五十周年を迎えることから、早めに開催された。

議事は、次期会長選出ならびに次期役員承認。

まず、齋藤明比古会長が次期会長に富岡茂永富岡八幡宮宮司（現都神青副会長）を指名、満場一致で選出された。その後、次期役員選出のため、三役・総務部長・監事・相談役が集まり、役員選任会を開催。下記（次頁）の通り各役員が選出され、無事承認された。

富岡次期会長は「内憂外患の

状況で、日本国民は顧みようとせず、うたかたの平和・繁栄を享受し、うつつを抜かしている」ことを指摘。今後、日本の若者に伝統文化と日本の美風を伝えていきたいと述べた。また、次期当会が創立五十周年を迎えることから、諸先輩方の足跡をふり返り、次世代へ継承したいと力強く挨拶し、盛大なる拍手を受けた。

後、同会場に於いて直会が行われ、先輩方からは温かいお言葉をいただき等して、一同次期への思いをさせた。



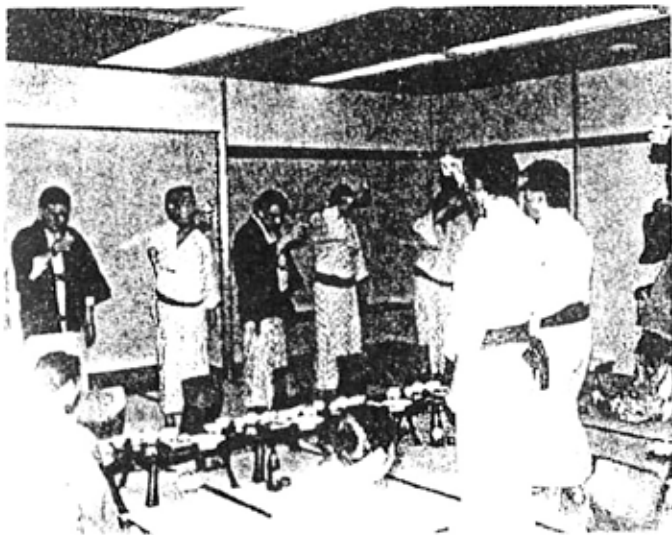
平成十一・十二年度 東京都神道青年会 各役員

- 会 長 (兼 創立五十周年実行委員長)
 - 富岡 茂永 (江東区・富岡八幡宮宮司)
- 副会長 本橋 宣彦 (杉並区・馬橋稻荷神社禰宜)
- 副会長 (兼 一都七県協議会副議長)
 - 内海 寿之 (江東区・東大島神社禰宜)
- 議長 小俣 章 (中野区・沼袋氷川神社禰宜)
- 監事 齋藤明比古 (杉並区・下高井戸八幡神社禰宜)
- 監事 堀江 久教 (目黒区・大鳥神社宮司)
- 監事 葦津 元成 (北多摩・東伏見稻荷神社禰宜)
- 五十周年誌編纂委員長 森田 一 (品川区・小山八幡神社禰宜)
- 時局対策特別委員長 大久保直倫 (新宿区・稻荷鬼王神社禰宜)
- 総務部長 八木 光重 (北区・王子神社宮司)
- 教養部長 鶴岡 隆志 (杉並区・天沼八幡神社禰宜)
- 教化部長 水野 明彦 (港区・御田八幡神社禰宜)
- 渉外部長 佐々木 修 (港区・櫻田神社宮司)
- 広報部長 奥野 雅司 (練馬区・石神井氷川神社禰宜)
- 事業部長 齋藤 成彰 (新宿区・穴八幡神社宮司)
- 庶務 岩崎 知樹 (文京区・櫻木神社禰宜)
- 庶務 勝田 博之 (港区・芝大神宮禰宜)
- 庶務 栗原 健人 (北多摩・氷川神社宮司)
- 庶務 北川 正訓 (大田区・雪ヶ谷八幡神社禰宜)
- 庶務 田村 康雄 (渋谷区・渋谷氷川神社禰宜)
- 庶務 藏重 命弘 (世田谷区・世田谷八幡神社禰宜)
- 會計 植田 浩敏 (千代田区・平河天満宮禰宜)

忘年旅行会 (事業部)

十一月十八日、箱根湯本の富士屋ホテルに於いて、先輩・会員四十三名が参加し、恒例の忘年旅行会が開催された。

当日は臨時総会が開催され、新役員が選出されたことから、先輩方から今期の執行部に対するいたわりの言葉と次期執行部への励ましの言葉をいただき、盛会なる宴会となった。会員たちは、当会の重要性をあらためて自覚するとともに、次期五十年に向けて決意を胸に抱いた一夜となった。



編集後記

▼ある男が友人と待ち合わせているパへ急いでいた。男がそのパの前に着くと、みすばらしい男から病気の子供がいるので金を恵んで欲しいと頼まれる。男は金を恵んで店に入る。先に来ていた友人が「だまされたな」と物乞いした男のウソを教える。すると男は「良かった。病気の子供はいないんだ」と微笑む。某スコッチウイスキーのCMである。「その町には、だまされる人とだます人の二通りがいる」というコピーから始まるこのCMに、目をとめた方は多いだろう。私は不覚にもこのCMに涙を流したが、ふと思議な感覚にとらわれた。殺伐とした今の日本だからこそ、強い感動を得たのではないかと考えたのである。若者男女を問わず、今の日本はどこかおかしい。臨時総会の折、富岡次期会長の「今の日本国民は、うたかたの平和と繁栄に享受している」と語った言葉は重い。さて、今期初めて『やくわえ』の号外を出すことができた。文字通り手作りの会報に、お見苦しい点が多々あると思う。しかし、経費削減という面からも、どうかご容赦願いたい。また、「B5」一枚のわずかに二ページにたかをくくっていたが、甘かった！。ワープロや辞書等、自分見たくないというものが正直な感想である。(森)

平成十年十二月一日
東京都神道青年会
東京都港区元赤坂二二二一三
東京都社庁内
電話 三四〇四一六五二五代